

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ EK 組

教科担当者：（ A組：野田 ） （ B組：野田 ） （ EK組：野田 ）

使用教科書：（ 『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』（第一学習社） ）

教科 地理歴史

の目標：

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○球面上の世界と地図 【知識及び技能】 地図の読み取り、使い方などの知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球上の諸事象に対して、デジタル地図上に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球上の諸事象に対して関心を高めることができる。	・指導事項 地形図の使い方、デジタル地図の使い方 ・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、デジタル地図の閲覧、編集	・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解している。 ・新聞広告や図書館の資料、インターネット検索などを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べている。 ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、時差の計算のに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。 ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を考察している。 ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解している。 ・インターネットを使ってさまざまなWeb地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	○地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエンシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直す態度を育てることができる。	・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解している。 ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解している。 ・地球的課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解している。 ・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエンシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。 ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解している。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。	○	○	○	8
	○生活圏の調査と地域の展望 地域調査の方法 【知識及び技能】 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の基本を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域のさまざまな事象に対し、課題をもち、関心を高めることができる。	・指導事項 フィールドワークによる調査、文献調査の仕方 ・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。 ・地域調査の一環として、資料の収集と活用を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ、発表している。 ・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し5W1Hの発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有している。 ・成人年齢が18歳になることを踏まえ、地域調査を通して、地域の課題に対する地方自治体の政策を調べ、主権者として地域の諸課題を解決する方法について考察を深めることができる。	○	○	○	1

	定期考査			○	○		1
	○生活圏の調査と地域展望 地域調査の方法 【知識及び技能】 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の基本を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域のさまざまな事象に対し、課題をもち、関心を高めることができる。	・指導事項 発表の行い方、質問の仕方 ・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索、発表ツール	・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身に付ける。 ・地域調査の一環として、資料の収集と活用を行い、的確な統計地図やグラフを作成して発表している。 ・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し5W1Hの発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有している。	○	○		1
	○生活・文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、地形や気候の面からとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることについて、関心を高める。	・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・図書館の本やインターネットから、世界の生活・文化を示した写真を探し、写真の中にある地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。 ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 ・世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習している。 ・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	○生活・文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 人々の生活環境や文化は地域的に大きく異なることを様々な資料からとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人々の生活様式の差異がどのように発生しているかを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくため、他者の文化を尊重し、自らの文化について関心を高めることができる。	・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか・関心を持ち、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習している。 ・祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身に付ける。 ・多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくためには、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。	○	○	○	2
	○地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエンカルの消費者としての取組を通して、自らの行動を見直す態度を育てることができる。	・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解している。 ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解している。 ・地球的課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解している。 ・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエンカルの消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。 ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解している。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A・B・EK組

教科担当者：（A・B組：荒井 EK組：野田 貴生）

使用教科書：（『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』（清水書院））

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解し、知識をもとに諸資料の分析をしたり、諸資料から情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 各事象の地理的・歴史的意義を、諸資料概を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想した内容をまとめる力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自己の能力を変革・向上させようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、考察するための基本的な知識を取得し、知識を用いて諸資料から各事象の歴史的意義を調べたり仮説を立てる。また、グラフ、図、史料の読解力を獲得する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを文章でまとめ、説明したり、それらを基に議論したりしている。	自己の歴史に対する認識を深め、諸資料から多角的・多面的に歴史的事象の意義を判断し、よりよい社会の実現をめざして、自己の認識や能力を変革・向上させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 1章江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な表やグラフ、絵画や風刺画から必要な情報を読み取れる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、歴史的事象についての深い理解を獲得し、その内容を協同活動で確認し、文章や発表で表現する能力を身につける活動を毎授業で取り入れる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記2つの能力を身につけていく中で、自身の能力を向上させたり認識を変革させる努力の形跡をしめせるよう、仮説や問いを立てさせる。	内容 江戸時代の外交 東アジアの17世紀の国際秩序 西欧で始まったグローバル化 アジアへ向かうヨーロッパ 欧米市民革命 フランス革命（国民誕生） 産業革命で変わる社会 イギリスの繁栄と国際分業体制 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	【知識及び技能】 基本的な知識が定着し、図や資料・グラフを適切に解釈している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から歴史的事象の意義を文章にまとめ、意見交換を積極的に行い、深い学びに結び付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの学習前の仮説を授業を通して改善している。	○	○	○	2
	単元2章欧米諸国における近代化 3章国民国家の形成 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な表やグラフ、絵画や風刺画から必要な情報を読み取れる技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、歴史的事象についての深い理解を獲得し、その内容を協同活動で確認し、文章や発表で表現する能力を身につける活動を毎授業で取り入れる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記2つの能力を身につけていく中で、自身の能力を向上させたり認識を変革させる努力の形跡をしめせるよう、仮説や問いを立てさせる。	内容 1848年革命 ドイツ・イタリアの上からの近代化 アメリカの工業化と移民問題 帝国主義と世界の一体化 西欧の衝撃と西アジアの変化 南・東南アジアの植民地化 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交換	【知識及び技能】 基本的な知識が定着し、図や資料・グラフを適切に解釈している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から歴史的事象の意義を文章にまとめ、意見交換を積極的に行い、深い学びに結び付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの学習前の仮説を授業を通して改善している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		2
ア	単元4章アジア諸国の動揺 5章近代化が進む日本と東アジア 6章第一次世界大戦と日本 7章国際社会と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身につけ、知識をもとに必要な表やグラフ、絵画や風刺画から必要な情報を読み取れる技能を身につけさせる。	内容 明治維新 文明開化 東アジアの従属化 日本の帝国主義国化 近代化は世界に何をもちたしたか	【知識及び技能】 基本的な知識が定着し、図や資料・グラフを適切に解釈している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から歴史的事象の意義を文章にまとめ、意見交換を積極的に行い、深い学びに結び付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの学習前の仮説を授業を通して改善している。				

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、歴史的 事象についての深い理解を獲得し、 その内容を協同活動で確認し、 文章や発表で表現する能力を身に つける活動を毎授業で取り入れる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記2つの能力を身につけていく中 で、自身の能力を向上させたり認識 を変革させる努力の形跡をしめせる よう、仮説や問いを立てさせる。	「国際秩序」「大衆化」の考察 ドイツ・ロシアの対外政策と国際 秩序の変化 総力戦は何をもたらしたか ロシア革命で終わったものと始 まったもの 英仏2帝国の弱体化 大衆化によるアメリカの繁栄 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交 換	○	○	○	19		
	定期考査			○	○		2	
3 学 期	単元8章日本の行方と第二次世界大 戦 9章冷戦で揺れる世界と日本 10章多極化する世界 【知識及び技能】 授業に必要な基本的な知識を身に つけ、知識をもとに必要な表やグラ フ、絵画や風刺画から必要な情報 を読み取れる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識・技能を利用し、歴史的 事象についての深い理解を獲得し、 その内容を協同活動で確認し、 文章や発表で表現する能力を身に つける活動を毎授業で取り入れる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記2つの能力を身に付けていく中 で、自身の能力を向上させたり認識 を変革させる努力の形跡をしめせる よう、仮説や問いを立てさせる。	内容 大衆化による日本の発展 世界恐慌によるファシズム台頭 日本のファシズムと満州事変 旧外国による日本の植民地獲得行 動 第二次世界大戦の推移 新たなグローバル化 米ソの対立と緊張緩和 冷戦が日本に与えた影響 植民地の独立による国際関係の変 化 指導上の留意 一人一台端末の活用による意見交 換	【知識及び技能】 基本的な知識が定着し、図や資料・グラフを 適切に解釈している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から歴史的事象の意義を文章にまと め、意見交換を積極的に行い、深い学びに結 び付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの学習前の仮説を授業を通して改善して いる。		○	○	○	14
	定期考査				○	○		2
							合計	
							59	

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科：公民科 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～EK組

教科担当者：（A組：永井）（B組：永井）（EK組：永井）

使用教科書：（『高等学校新公共』（第一学習社））

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】現代の多様化する社会の様相を、諸資料やデータを活用して把握し、基礎的概念と組み合わせながら社会認識を深めていく。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して、幸福・正義・公正などの概念を活用して課題解決の方法を考えたり、物事を多面的に、批判的に分析しながら自分の考えや意見を発表できる力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して主体的に考え、解決を図ろうとする主権者としての能力を高める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するために手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	公共の屋 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。また、労働環境に関わる諸課題やその背景にある社会の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。また、自立した主体として解決が求められる労働環境の諸課題に関し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、雇用や労働環境について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	・指導事項 現代社会の諸課題 青年期とキャリア形成 職業選択 公共の基本原理 ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識及び技能】 人生の中で青年期はどのような意味をもつか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 職業選択の意義と労働環境の諸課題について理解している。 【思考・判断・表現】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 職業選択を見据え、労働環境の諸課題について考え、自らの意見を論じている。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 職業選択に関する現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	○	○	○	6
	公共と人 【知識及び技能】 科学技術の進展による産業構造や生活の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 技術革新による社会の変化の中で、社会参画を視野に入れながら、問題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	・指導事項 公共と人 ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 科学技術の進展に伴う社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 など、現代の諸課題を理解している。 【思考・判断・表現】 技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

契約と消費者の権利 【知識及び技能】 なぜ契約が生まれ、契約を守る必要が大切なのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題について考え、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。	・指導事項 現代社会の諸課題 契約と消費者の権利・責任 ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 成年年齢が18歳以上となったことに対し、成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 【思考・判断・表現】 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題について考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18歳成年をふまえ、契約に関する知識や問題を身近なこととして捉えて考えようとしている。	○	○	○	2
公共と倫理 【知識及び技能】 公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統や文化と、自らの行動様式や考え方との関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、文化対立や宗教対立などの問題を把握し、主体的に解決しようとしている。	・指導事項 公共と倫理 宗教と文化、多様性 個人の尊厳と多様性、文化とのかかわり ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 【思考・判断・表現】 伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、文化対立や宗教対立などの問題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
公共の基本原則 【知識及び技能】 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の倫理的問題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 倫理分野 哲学、応用倫理 人間と社会のあり方についての見方、考え方 ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をともに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることを考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の倫理的問題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
現代社会の諸課題 1 法 【知識及び技能】 法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 政治分野 法的な主体となる私たち ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

2 学 期	現代社会の諸課題 2 政治 【知識及び技能】 民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。【思考力、判断力、表現力等】 選挙の意義や課題、世論の形成や政党の役割を考える。日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化にどのように対応すべきか考え、表現できる。【学びに向かう力、人間性等】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要か考え、課題の解決に向け主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 政治分野 政治 政治的な主体となる私たち 主権国家と日本の安全保障 平和主義と安全保障 ・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	現代社会の諸課題 3 経済 【知識及び技能】 少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。【思考力、判断力、表現力等】 財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を考え、表現する。【学びに向かう力、人間性等】 財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 経済分野 経済的な主体となる私たち 財政の役割と社会保障 政府の経済的役割と租税の意義 社会保障と国民福祉 ・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用	【知識・技能】 財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 財政の役割と社会保障について、現代の諸課題である少子高齢化と社会保障の問題、租税の負担の問題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
3 学 期	定期考査 持続可能な社会へ 国際政治 国際経済 課題探究活動 【知識及び技能】 国際社会における貧困や格差の原因を理解し、発展途上国の経済成長のために何が必要かを理解する。【思考力、判断力、表現力等】 経済がグローバル化の中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。【学びに向かう力、人間性等】 国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。	・指導事項 国際政治、国際経済分野 経済のグローバル化と国際社会のこれから 国際社会における貧困や格差 ・教材 『高等学校新公共』 『最新図説公共』 ・一人1台端末を活用 ・現代の国際問題に関する探究活動を含めた活動を行う。	【知識・技能】 国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について、国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。 【思考・判断・表現】 国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることについて考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	14
4 学 期	定期考査			○	○	○	1

八丈 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科 地理歴史 科目 世界史探究 単位数 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（A組： 荒井 ） （B組： 荒井 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（『詳説 世界史』（山川出版社）『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめあげる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、相互の関連性を多面的・多角的に考察し、説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自国と、他国や他国の文化を尊重することの大切さを自覚する。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大枠と展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本史と関連付けて理解し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べ、まとめる技能を身につける。	世界の歴史の大枠と展開に関わる事象の意義、特色などを時期や推移、比較、相互の関連に着目し、多角的・多面的に考察し、課題を把握して解決するための力を養う。	世界の歴史の大枠と展開に関わる諸事象について、よりよい社会実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地球環境から見る人類の歴史 【知】人類の誕生・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 【思】時間や空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の特性を考察し、表現する。 【主】資料を活用し、課題を追究する活動に主体的に取り組む。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 中学校での学習内容や歴史総合での学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸地域の歴史的特質の形成について、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	11
	古代文明の歴史的特質 【知】西アジア文明、インダス文明、中華文明を基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 【思】古代文明と現代の生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 中学校での学習内容や歴史総合での学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸地域の歴史的特質の形成について、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	諸地域の歴史的特質 【知】各地域の宗教・国家の成立などを基に、それぞれの諸国家の歴史的特質を理解する。 【思】各地域の諸国家の諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸国家の社会や文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 【主】・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2 学 期	アジア諸地域とヨーロッパの再編 【知】西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解する。 【思】アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。	○	○	○	45
	世界市場の形成と諸地域の結合 【知】産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。 【思】結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。	○	○	○	21
	帝国主義とナショナリズムの高揚 【知】第2次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解する。 【思】列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	40
3	第一次・第二次世界大戦と諸地域の変容 【知】第一次・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の台頭	・指導事項 『詳説 世界史』	【知識・技能】これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。				

学 期	度の国際状況、戦戦とノンノ諸国の強いの始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。 【思】第一・二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む	・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	とめたりして、資料を活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。	○	○	○	9
							合計
							157

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 日本史探究

教科： 地理歴史科 科目： 日本史探究 単位数： 単位

対象学年組： 第 2 学年 ^{A B} 組

教科担当者：（AB組：高萩慶太）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（『詳説日本史』（山川出版社））

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 江戸時代の幕末に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の幕末に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の幕末に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P 2 2 0 ～ 2 4 0 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人 1 台端末の活用等	【知識・技能】 江戸時代の幕末に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 江戸時代の幕末に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 江戸時代の幕末に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	11
	A 単元 【知識及び技能】 明治時代初期に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 明治時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 明治時代初期に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P 2 4 0 ～ 2 6 0 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人 1 台端末の活用等	【知識・技能】 明治時代初期に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 明治時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治時代初期に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 明治時代に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 明治時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P 2 9 0 ～ 3 0 0 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人 1 台端末の活用等	【知識・技能】 昭和時代初期に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 昭和時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。				

2 学 期	明治時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 明治時代に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。		る。 【主体的に学習に取り組む態度】 昭和時代初期に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	16
	A 単元 【知識及び技能】 大正時代に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 大正時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 大正時代に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P 300～310 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 昭和時代中期に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 昭和時代中期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 昭和時代中期に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の世界に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P 330～350 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦後の世界に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。				10
	定期考査			○	○		1
							合計
							67

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 教養の社会

教科：公民 科 目： 教養の社会 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 Ⅲ 群

教科担当者：（ Ⅲ群：野田 ）

使用教科書：（ ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】現代の多様化する社会の様相を、諸資料やデータを活用して把握し、基礎的概念と組み合わせながら社会認識を深めていく。
- 現代社会における社会的課題や論争問題などに対して、幸福・正義・公正などの概念を活用して課題解決【思考力、判断力、表現力等】の方法を考えたり、物事を多面的に、批判的に分析しながら自分の考えや意見を発表できる力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して主体的に考え、解決を図ろうとする主権者としての能力を高める。

科目 教養の社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の社会とその成り立ち、人々の生活についての基本的な事柄を理解し、自身の進路と関連付ける形で知識を身に着けている。	・現代の社会の様々な問題について多面的・多角的に考察し、よりよい社会を作っていく方法を見出すとともに、その過程と結果を様々なメディアを適切に活用し、表現している。	・現代の社会における様々な事象に対し、自らの進路・生活と結び付けて積極的に考察しようとする態度を身に着け、現代社会における望ましい在り方・生き方について自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○オリエンテーションと資料の活用 【知識及び技能】 ニュースに出る基本的な用語について、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 マスメディアや図書館の適切な活用方法について、考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の諸問題と、メディアの役割、活用について、関心を持つ。	・指導事項 基本的な用語等の確認 メディアの適切な活用 ・教材 ニュース検定公式テキスト&問題集（毎日新聞出版） ・一人1台端末の活用等 Teamsで考えを表現し、共有する活動	【知識・技能】 ・ニュースの頻出単語について、必要な知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・メディアや資料を適切に用いて、自らの考えを説得力を持った形で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアや資料を積極的に参照し、活用しようとしている。	○	○	○	4
	○暮らし 【知識及び技能】 人口・社会保障・労働・消費について、日本と世界の現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 テキストの内容と、自らの考えを資料にまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 人口・社会保障・労働・消費について、身近な生活や自らの将来と結び付けて学ぶ。 定期考査	・指導事項 社会の様々な問題と、自分の生活とのかかわりを意識させる。 ・教材 ニュース検定公式テキスト&問題集（毎日新聞出版） ・一人1台端末の活用等 テキストの事項や自分の考えを資料にまとめ、発表する。	【知識・技能】 ・人口・社会保障・労働・消費について、主要な問題と背景を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・諸資料を適切に用いながら、説得力を持たせて自らの考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の諸問題について、自らの生活との関わりを意識し、積極的に改善しようとしている。	○	○	○	4
				○	○		1
	○経済 【知識及び技能】 日本と世界の経済・産業について、現状と問題点を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 テキストの内容と、自らの考え・提案を適切に資料にまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と世界の経済・産業、エネルギー問題について、身近な生活や自らの将来と結び付けて学ぶ。 定期考査	・指導事項 経済の基本的な仕組みを、身近な経済活動と結び付けて理解させる。 ・教材 ニュース検定公式テキスト&問題集（毎日新聞出版） ・一人1台端末の活用等 テキストの事項や自分の考えを資料にまとめ、発表する。	【知識・技能】 ・日本と世界の経済・産業、エネルギー問題について、主要な問題と背景を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・諸資料を適切に用いながら、説得力を持たせて自らの考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の諸問題について、自らの生活との関わりを意識し、積極的に改善しようとしている。	○	○	○	10
				○	○		1

八丈 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科 地理歴史科 科目 世界史B 単位数 5 単位

対象学年組 第 3 学年 組～ 組

教科担当者 （組 荒井 ） （組 ） （組 ） （組 ） （組 ） （組 ）

使用教科書 （『詳説 世界史探究』（山川出版）『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院））

教科 地理歴史科 の目標

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究	の目標
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 古代から中世の世界 【知識及び技能】 古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 古代から中世の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・指導事項 『詳説世界史探究』P16～P175 ・教材 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 古代から中世の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 古代から中世の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代から中世の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	68
	定期考查			○	○		1
2 学 期	B 単元 近世から近代世界 【知識及び技能】 近代から近世の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 近代から近世の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 近代から近世の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・指導事項 『詳説世界史探究』P176～P257 ・教材 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近代から近世の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 近代から近世の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代から近世の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	109
	定期考查			○	○		1

3 学 期	C 単元 帝国主義から現在の世界 【知識及び技能】 帝国主義から現在の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義から現在の世界の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義から現在の世界の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 定期考査	・指導事項 『詳説世界史探究』 P258～P363 ・教材 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 帝国主義から現在の世界の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 帝国主義から現在の世界の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義から現在の世界の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	22
				○	○		1
							合計
							162

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A・B組

教科担当者：（A組：高萩 B組：高萩）

使用教科書：（『最新政治・経済』（実教出版））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 現代の多様化する社会の様相を的確に把握した上でその問題点を正確に認識し、問題解決と価値創造、世界の調和の実現に尽力できる社会性の育成と人間性の陶冶を目標とする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな社会的な問題に対して、幸福・正義・公正の観点から、自ら積極的・主体的に取り組む姿勢、批判できる目、多面的に考える力、自分の考えや意見を発表できる力などを育てる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における在り方生き方問題、青年期の課題などに対しても興味関心を高める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 現代社会の青年と生き方 【知識及び技能】 ・人生における青年期の意義とともに、現代における青年期の特徴を、心理的・社会的モラトリアム等の用語を手掛かりに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として考え、追究する。	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新図説政経』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・人生における青年期の意義とともに、現代における青年期の特徴を、心理的・社会的モラトリアム等の用語を手掛かりに理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として考え、追究しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 現代の社会と人間 【知識及び技能】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、先哲の思想などを参考に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、自分自身の課題として考え、追究する。	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新図説政経』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について用語や概念、データを手掛かりに理解している。 【思考・判断・表現】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、先哲の思想などを参考に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、自分自身の課題として考え、追究しようとしている。	○	○	○	10
	C 単元 民主主義と日本国憲法 【知識及び技能】 ・民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治の成立における、社会契約説の意義や権力分立の考え方、法の支配などの意義について、歴史的経過も視野に入れながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治の成立に際して、どのような思想や考え方があったのか、関心を持って意欲的に考える。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）第2部2章、3章 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の成立における、社会契約説の意義や権力分立の考え方、法の支配などの意義について、歴史的経過も視野に入れながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治の成立に際して、どのような思想や考え方があったのか、関心を持って意欲的に考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2
	D 単元 現代の経済と国民福祉 【知識及び技能】	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材	【知識・技能】 ・現在経済に至る経済社会の変容、現代の企業の区分、株式会社の特色について理解し、				

2 学 期	・ 現在経済に至る経済社会の変容、現代の企業の区分、株式会社の特色について理解し、その知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 市場における、価格の働きを通じた財やサービスの配分のメカニズムについて考察している。寡占市場、独占市場、外部不経済などの市場の限界について、具体的な事例も想起しながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 財政と社会保障など、身近に関わる経済的諸問題について関心をもち、探究する。	『最新政治・経済』（実教出版） 『最新図説政経』（浜島書店）	その知識を習得している。 【思考・判断・表現】 ・ 市場における、価格の働きを通じた財やサービスの配分のメカニズムについて考察している。寡占市場、独占市場、外部不経済などの市場の限界について、具体的な事例も想起しながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 財政と社会保障など、身近に関わる経済的諸問題について関心をもち、探究している。	○	○	○	18
	E 単元 国際社会と人類の課題 【知識及び技能】 ・ 個人と社会の関わりの視点から、国際社会の諸課題について、環境や資源・エネルギーの問題などを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について 関心が高まる。 定期査査	・ 指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・ 教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新図説政経』（浜島書店）	【知識及び技能】 ・ 個人と社会の関わりの視点から、国際社会の諸課題について、環境や資源・エネルギーの問題などをもとに、持続可能な社会形成への参画の在り方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用しながら考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心をもち、探究している。	○	○	○	18
				○	○		2
3 学 期	E 単元 共に生きる社会をめざして 【知識及び技能】 ・ 個人と社会の関わりの視点から、人口問題・南北問題・SDG s などのテーマを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心が高まる。	・ 指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・ 教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新図説政経』（浜島書店）	E 単元 国際社会と人類の課題、共に生きる社会 【知識及び技能】 ・ 個人と社会の関わりの視点から、人口問題・南北問題・SDG s のテーマを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心が高まっている。	○	○	○	8
							合計
							74

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 EK組

教科担当者：（永井）

使用教科書：（「最新政治・経済」（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の多様化する社会の様相を、諸資料やデータを活用して把握し、基礎的概念と組み合わせながら社会認識を深め、

【思考力、判断力、表現力等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して、幸福・正義・公正などの概念を活用して課題解決の方法を考

【学びに向かう力、人間性等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して主体的に考え、解決を図ろうとする主権者としての

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手助けとなる概念や理論について理解し、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を有する。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治、経済に関する概念や理論を活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握する力や説明する力、身に付けた判断基準を根拠に構想する力、構想したことと妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合憲形成や社会参画に向かう力を育成する。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、平和で民主的な国家・社会を担う主権者としての力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 法の役割と民主主義、日本国憲法などについて理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義の特質についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ、現代社会の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義の特質について関心を高め、意欲的に追究し、社会や政治の在り方と福祉の向上について客観的に考察することができる。	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新国説政経』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 法の役割と民主主義、日本国憲法などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義の特質についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ、現代社会の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義の特質について関心を高め、意欲的に追究し、政治活動の在り方と福祉の向上について客観的に考察しようとしている。	○	○	○	14
	B 単元 【知識及び技能】 政治と国家、契約自由の原則、社会契約説、法の支配、権力分立、議院内閣制、院制、議院内閣制、大統領制などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質に関する資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について関心を高め、意欲的に追究し、民主的な政治の在り方について客観的に考察できる。	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新国説政経』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 政治と国家、契約自由の原則、社会契約説、法の支配、権力分立、議院内閣制、大統領制などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質に関する資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について関心を高め、意欲的に追究し、民主的な政治の在り方について客観的に考察しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		2
2 学期	C 単元 【知識及び技能】 各産業の直面する問題、公害・環境問題、消費者問題、雇用をめぐる問題、社会保障問題など日本経済の諸課題について理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本経済の諸課題についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ現代日本経済の諸課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本経済の諸課題について関心を高め、意欲的に追究し、効率性と公正さなどの観点から経済の在り方と福祉の向上について客観的に考察することができる。	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新国説政経』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 各産業の直面する問題、公害・環境問題、消費者問題、雇用をめぐる問題、社会保障問題など日本経済の諸課題について理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本経済の諸課題についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ現代日本経済の諸課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本経済の諸課題について関心を高め、意欲的に追究し、効率性と公正さなどの観点から経済の在り方と福祉の向上について客観的に考察しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
3 学期	D 単元 【知識及び技能】 人口減少社会と社会保障、地域社会の変容と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、実質的な平等の実現など、持続可能な社会の形成を求めている現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ現代日本の諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できている。	・指導事項 『最新政治・経済』（実教出版） ・教材 『最新政治・経済』（実教出版） 『最新国説政経』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等 ・現代日本における社会的課題についての探究活動を含めた活動を行う。	【知識及び技能】 人口減少社会と社会保障、地域社会の変容と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、実質的な平等の実現など、持続可能な社会の形成を求めている現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用しつつ現代日本の諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察しようとしている。	○	○	○	12
							合計 59

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		地理歴史科	科目	日本史演習
教 科：	地理歴史科	科 目：	日本史演習	単位数： 5 単位 5
対象学年組：	第 3 学年	組～	組	
教科担当者：	（ 組：高萩慶太 ）	（ 組：	）	（ 組：
使用教科書：	（ 「詳説日本史」（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノ	ー	ト、新よくでる一問一答日本史（山川出版社）	）
教科	地理歴史科	の目標：		

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調
【知 識 及 び 技 能】査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるように
する。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して
【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力
や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に
解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵
【学びに向かう力、人間性等】養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文
化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史改訂版整理ノート』（山川出版社）P 4～7 3 ・教材 「詳説日本史 改訂版」（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社） ・一人 1 台端末の活用等	【知識・技能】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	66
	定期考査			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象を理解するとともに、	・指導事項 『詳説日本史改訂版整理ノート』（山川出版社）P 7 6～1 7 1 ・教材	【知識・技能】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。				

2 学 期	諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 室町時代～第二次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	『詳説日本史 改訂版』（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【思考・判断・表現】 室町時代～第二次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	71
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の世界に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史改訂版整理ノート』（山川出版社）P172～229 ・教材 『詳説日本史 改訂版』（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦後の世界に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理 単位数：2 単位
対象学年組：第 3 学年 A・B・E組
教科担当者：（A・B・E組：永井）
使用教科書：（『高等学校 倫理』（第一学習社））
教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の多様化する社会の様相を、諸資料やデータを活用して把握し、基礎的概念と組み合わせながら社会認識を深めていく。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して、幸福・正義・公正などの概念を活用して課題解決の方法を考えたり、物事を多面的に、批判的に分析しながら自分の考えや意見を発表できる力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会における社会的課題や論争問題などに対して主体的に考え、解決を図ろうとする主権者としての能力を高める。

科目 倫理	の目標：	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識及び技能】	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する基本的な事項を、生きる主体としての自己確立の課題となつて理解し、人間の形成に生かす知識として身につけていく。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見たり、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立つて主体的かつ公正に判断し、その進捗や結果を保つ方法で適切に表現する。青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用し、学び方を身につける。	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに就く諸課題を探究する態度を身に付け、人間としてのあり方生き方について自觉を深めようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	記述点数
1学期	A 青年期の課題と自己形成 【知識及び技能】 青年心理学や発達心理学上の知見について理解し正確な知識をもつ。パーソナリティ、適応、葛藤、欲求不満、防衛機制、自己実現などの概念を理解し、自己の特性について客観的に把握できている。自己自身の生き方や在り方について、アイデンティティやセロトリンといった言葉を適切に使うことができ、青年期の発達課題をまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の課題を現在の自分のこととして考え、その解決に向けて積極的な態度で生きている。自己自身の生き方や在り方について、パーソナリティ、アイデンティティ、適応といった一般理論から、個々人の現実の次元でそれがどうなっているかを判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期を現在の自分のこととして、関心をもち、その課題に取り組もうとする意欲をもつ。自己自身の生き方や在り方について、自覚的に見つめて考えようとする関心や意欲をもつ。	・指導事項 『高等学校 倫理』（第一学習社） ・教材 『高等学校 倫理』（第一学習社） 『アプローズ倫理資料PLUS』（とうほう） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 青年心理学や発達心理学上の知見について理解し正確な知識をもっている。パーソナリティ、適応、葛藤、欲求不満、防衛機制、自己実現などの概念を理解し、自己の特性について客観的に把握することができる。自己自身の生き方や在り方について、アイデンティティやセロトリンといった言葉を適切に使うことができ、青年期の発達課題をまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の課題を現在の自分のこととして考え、その解決に向けて積極生している。自己自身の生き方や在り方について、パーソナリティ、アイデンティティ、適応といった一般理論から、個々人の現実の次元でそれがどうなっているかを判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期を現在の自分のこととして、関心をもち、その課題に取り組もうとする意欲をもっている。自己自身の生き方や在り方について、自覚的に見つめて考えようとする関心や意欲をもっている。	○	○	○	3
	B 源流思想 【知識及び技能】 古代ギリシャの哲学、一神教の概念、中国思想などについて理解し、これらの概念を現代の諸資料との関係性を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な歴史的知識を踏まえて認識し、古代ギリシャの哲学、一神教の概念、中国思想などについてその意味について考え、主体的かつ客観的に判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の生き方や在り方について、先哲が考え実践したことが時間や空間を超えた普遍的な意義をもつものとして、あるいは自己自身の生き方や在り方に深く関わるものとして関心をもちて学ぼうとする意欲・態度をもつ。	・指導事項 『高等学校 倫理』（第一学習社） ・教材 『高等学校 倫理』（第一学習社） 『アプローズ倫理資料PLUS』（とうほう） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 古代ギリシャの哲学、一神教の概念、中国思想などについて理解しこれらの概念をもとに原典資料の解釈を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な歴史的知識を踏まえて認識し、古代ギリシャの哲学、一神教の概念、中国思想などについてその意味について考え、主体的かつ客観的に判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の生き方や在り方について、先哲が考え実践したことが時間や空間を超えた普遍的な意義をもつものとして、あるいは自己自身の生き方や在り方に深く関わるものとして関心をもちて学ぼうとする意欲・態度をもっている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学期	C 西洋近代思想 【知識及び技能】 近代西洋思想について、政治や経済、社会、文化的状況を踏まえて関心をもち、考える。 【思考力、判断力、表現力等】 近代西洋思想について、多様な観点から、種々の情報資料を収集調査し、問題点や課題の所在を明確化し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代西洋思想について、近代化・合理化・進化や進歩とその問題点について知識をもち、現代の諸事象を解釈する。	・指導事項 『高等学校 倫理』（第一学習社） ・教材 『高等学校 倫理』（第一学習社） 『アプローズ倫理資料PLUS』（とうほう） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 近代思想について、政治や経済、社会、文化的状況を踏まえて関心をもち、考えようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 近代思想について、多様な観点から、種々の情報資料を収集調査し、問題点や課題の所在を明確化し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代思想について、近代化・合理化・進化や進歩とその問題点について知識をもち、現代の諸事象を解釈することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D 西洋近代思想 【知識及び技能】 現代思想と倫理的課題について、政治や経済、社会、文化的状況を踏まえて関心をもち、考える。 【思考力、判断力、表現力等】 現代思想と倫理的課題について、多様な観点から、種々の情報資料を収集調査し、問題点や課題の所在を明確化し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代思想と倫理的課題について、近代化・合理化・進化や進歩とその問題点について知識をもち、現代の諸事象を解釈する。	・指導事項 『高等学校 倫理』（第一学習社） ・教材 『高等学校 倫理』（第一学習社） 『アプローズ倫理資料PLUS』（とうほう） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 現代思想と倫理的課題について、政治や経済、社会、文化的状況を踏まえて関心をもち、考えようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代思想と倫理的課題について、多様な観点から、種々の情報資料を収集調査し、問題点や課題の所在を明確化し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代思想と倫理的課題について、近代化・合理化・進化や進歩とその問題点について知識をもち、現代の諸事象を解釈することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	E 日本思想 【知識及び技能】 日本の仏教、儒教、近代思想の様々な概念について理解し、そうした概念を用いて文章を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教、儒教、近代思想の様々な概念について、教科書や原典、その解説書、小説や映画などの芸術作品、種々の情報資料等を活用し、認識を深め、その結果をまとめてレポートを書いたり、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の仏教、儒教、近代思想の様々な概念について関心をもち、学ぼうとする態度を身に付ける。	・指導事項 『高等学校 倫理』（第一学習社） ・教材 『高等学校 倫理』（第一学習社） 『アプローズ倫理資料PLUS』（とうほう） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 日本の仏教、儒教、近代思想の様々な概念について理解し、そうした概念を用いて文章を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教、儒教、近代思想の様々な概念について、教科書や原典、その解説書、小説や映画などの芸術作品、種々の情報資料等を活用し、認識を深め、その結果をまとめてレポートを書いたり、発表したりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の仏教、儒教、近代思想の様々な概念について関心をもち、学ぼうとする態度を身に付けていく。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							61